

2025年度 決算説明会

2026年4月30日
株式会社村田製作所

2025年度 ハイライト・トピックス

代表取締役社長 中島規巨

当社のIT環境への不正アクセスに関するお知らせ

◆不正アクセスの概要

- ✓ 2026年2月28日に不正アクセスの可能性を認識し初動調査を開始、3月1日より本格的な調査を実施。
- ✓ 調査の結果、第三者による不正アクセスおよび一部データの不正取得を確認。
- ✓ 不正アクセスへの即時対応は完了しており、現在まで新たな被害や事業活動への影響は確認されていない。

◆影響と再発防止策の状況

生産 影響

- ・当社の購買・生産・出荷を支える基幹システムや電子メールシステムへの被害、ならびに社内システムへの不正な外部ファイルのアップロード等は確認されていない。
- ・以上のことから当社のシステムは正常に稼働しており、生産・販売活動への支障はなし。

影響 範囲

- ・不正アクセスにより社外に漏洩したおそれがある情報は以下の通り。
個人情報：当社の従業員、並びにその関係者（ご家族・退職者含む）に関する情報 約7.3万件
当社の社外関係者（お客様、仕入先様、その他ステークホルダー様）約1.5万件

再発 防止

- ・既に実施済施策：不審通信遮断・監視強化・アクセス/認証/権限管理の強化に加え、検知範囲拡大とセキュリティ運用プロセスを強化済み。
- ・今後実施する対策：認証・権限管理の継続強化と検知高度化・監視拡大に加え、外部流通監視および第三者評価・監査を拡充予定。

2025年度のハイライト

2025年度 実績

売上収益 1兆8,309億円

- 売上収益は過去最高を更新。スマートフォン向けで高周波モジュールや樹脂多層基板が減少したものの、サーバー向けを中心に幅広い用途でコンデンサが増加したことにより増収となった。

営業利益 2,818億円

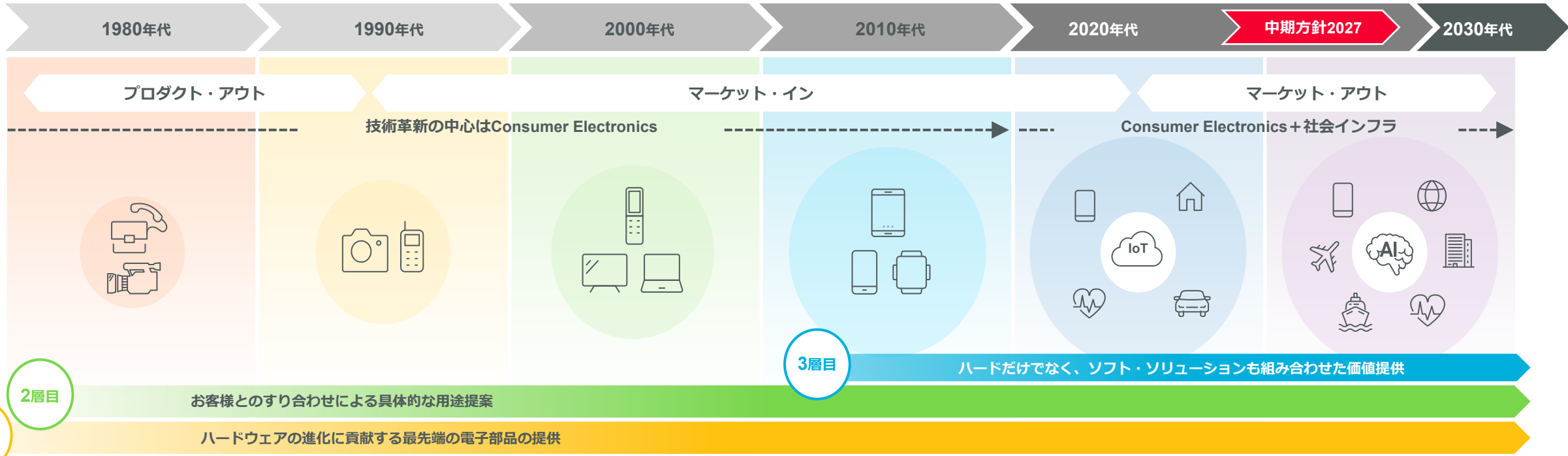
- 前期比で+0.8%増益。製品価格の値下がりや固定費の増加、のれんの減損を含む一時費用の増加に対して、生産高増加に伴う操業度益やコストダウンにより増益となった。

	取り組み
重点課題 1	高周波領域における <ul style="list-style-type: none"> ・ 差異化技術の追求 ・ シェア拡大
重点課題 2	電池事業の <ul style="list-style-type: none"> ・ 安定的な収益貢献 ・ ESS市場での価値提供
重点課題 3	電源事業の <ul style="list-style-type: none"> ・ AIサーバー向け需要獲得

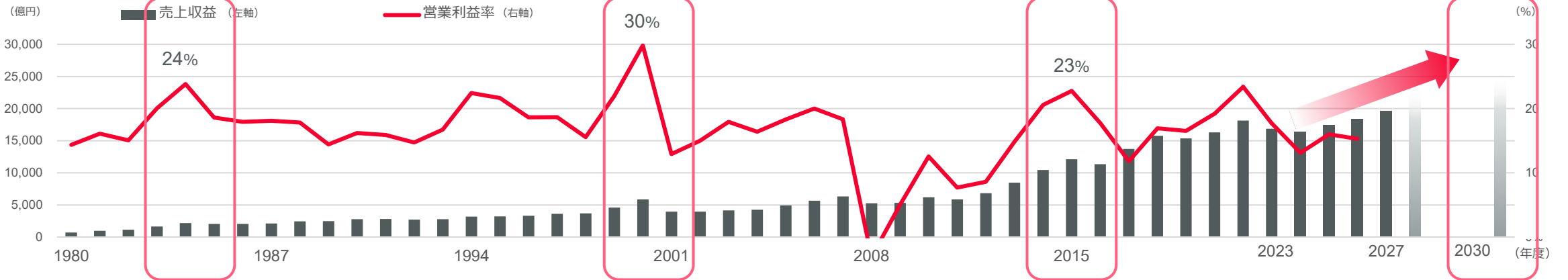


達成状況評価
<ul style="list-style-type: none"> ○ ハイエンド端末の来期モデルのシェア獲得 ▲ 表面波フィルタ製品に係る事業ののれんを減損
<ul style="list-style-type: none"> ○ 電池黒字化達成 ○ PT/OPE市場、BBU市場、ESS市場に資源を集中し、拡売活動を推進
<ul style="list-style-type: none"> ▲ ハイパースケーラ向けのセカンダリーモジュールは受注獲得も、ファームウェアのアップデートに起因した不具合でドロップ

Innovator in Electronicsの波



ムラタの業績推移



業績予想（2026年度通期）

2026年度 業績予想(4月)

売上収益 1兆9,600億円

- 2年連続での過去最高売上を更新見通し。コンデンサを中心としたデータセンター関連需要増を背景に前期比で+7.1%の増収。

営業利益 3,800億円

- 前期比で+34.8%の増益、値下げや固定費の増加を、データセンター関連需要増による生産高増加に伴う操業度益と品種構成の良化が寄与し増益。

設備投資 2,500億円

- 投資額全体は前期比同水準を計画。土地建物への投資は前期比で減少するも、サーバー向けコンデンサの旺盛な需要に対応するため、設備への投資は増加。(追加増産投資約800億円分のうち約400億円を含む)

株主還元

- 年間配当は1株あたり70円（前期比+5円）へ増配。
- 追加株主還元策として、過去最大の1,500億円を上限とする自己株式取得を実行。

データセンターの成長を掴み取るための重点取り組み

①コンデンサ ②電源モジュール

2026年度の重点取り組み

2026年度のデータセンター関連の業績見通しトピック

<コンデンサ>

サーバー向け 需要の拡大

コンデンサにおける
データセンター関連売上
前年比**+85%-90%増**

小型大容量化 ミックス改善

コンデンサ売上高
全体のASP向上
前年比**+5-10%増**

<電源モジュール>

電源事業での ビジネス獲得

データセンター関連向け
需要の拡大
新規PJTでの受注獲得
売上見込 **+250億円**

加速的な成長を見せるデータセンター関連の需要を掴み取るための重点取り組み

<コンデンサ>

約800億円の追加設備投資実行

(26年度約400億円、27年度約400億円)

<電源モジュール>

データセンター向けで複数の 電源商品の販売を開始

2025年度 業績概要および事業概況

2025年4月～2026年3月
連結累計期間

代表取締役副社長 南出雅範

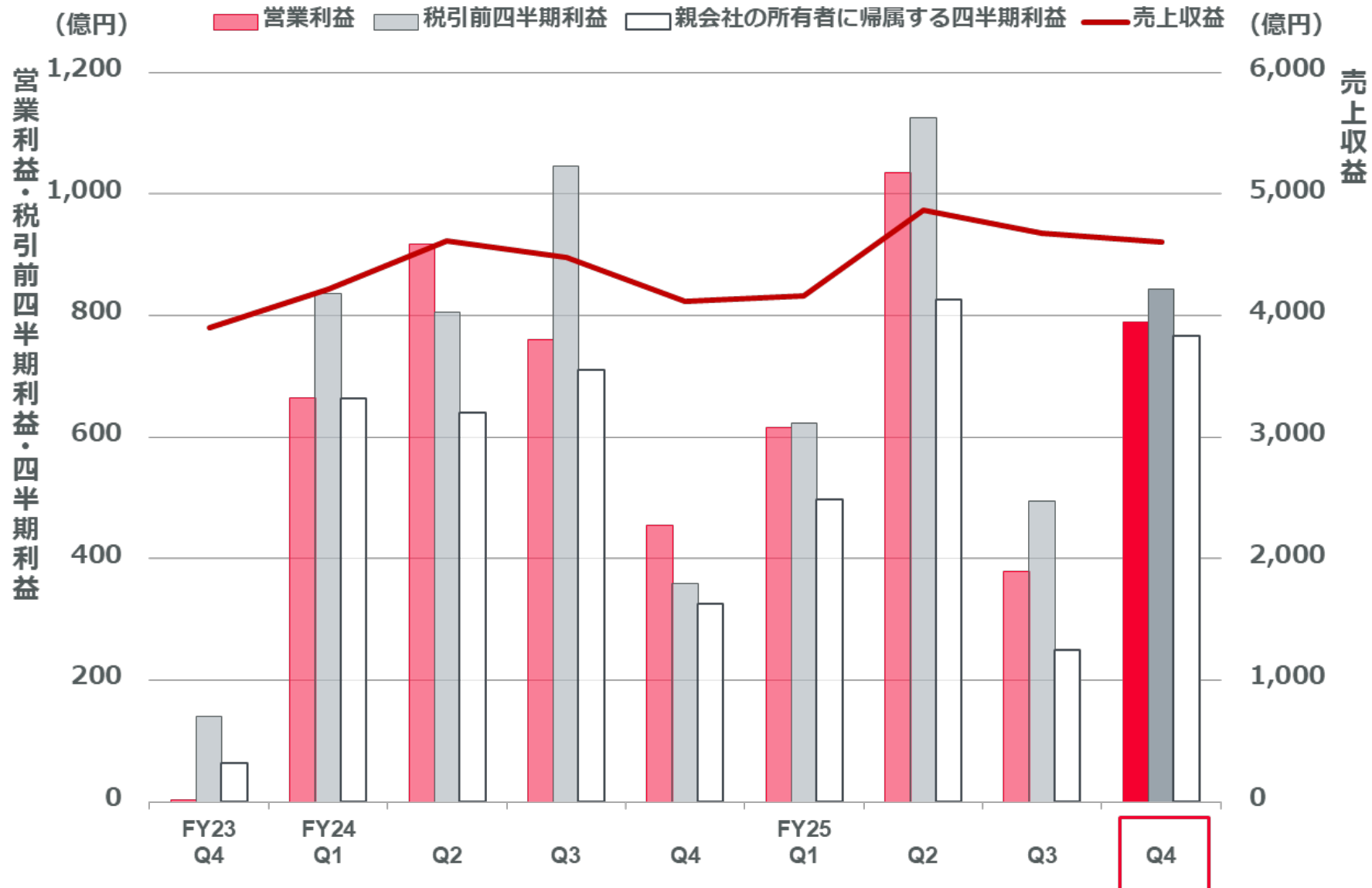
業績概況 (2025年度通期)

前期比

- スマートフォン向けで高周波モジュールや樹脂多層基板が減少したものの、サーバー向けを中心に幅広い用途でコンデンサが増加したことにより増収となった。
- 営業利益は、製品価格の値下がりや固定費の増加、のれんの減損を含む一時費用の増加に対して、生産高増加に伴う操業度益やコストダウンにより増益となった。

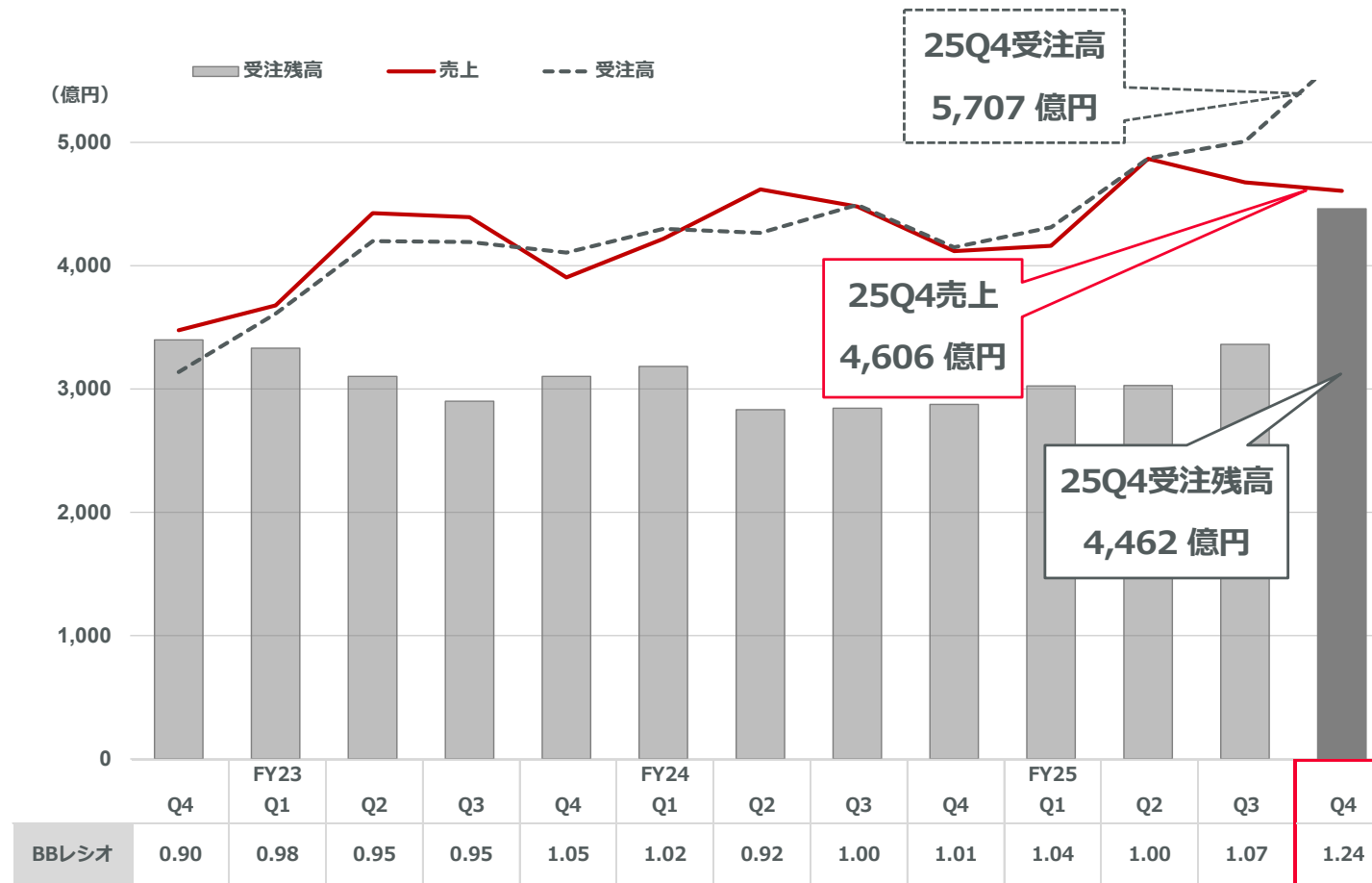
	2024年度 通期実績		2025年度 通期予想 (2月)		2025年度 通期実績		前期比		為替影響			2月予想比	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上収益	17,434	100.0	18,000	100.0	18,309	100.0	+875	+5.0	▲161	+1,036	+5.9	+309	+1.7
営業利益	2,797	16.0	2,700	15.0	2,818	15.4	+21	+0.8	▲81	+102	+3.6	+118	+4.4
税引前利益	3,044	17.5	2,940	16.3	3,086	16.9	+42	+1.4				+146	+5.0
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,338	13.4	2,200	12.2	2,339	12.8	+1	+0.0				+139	+6.3
ROIC(税引後) (%)	10.0		9.3		9.7		▲0.3pt					+0.4pt	
為替 (円/USD)	152.57		149.06		150.78		※対ドル為替感応度(1円変動/年) 売上収益：約90億円 営業利益：約45億円						

業績推移 (四半期)



売上・受注・注残推移（四半期）

- 全社の受注高は直前四半期比で増加。BBレシオは1.24となった。
- 円安の進行により外貨建て受注残高の評価額が増加したことに加え、データセンター関連需要が顕著に高まっている。



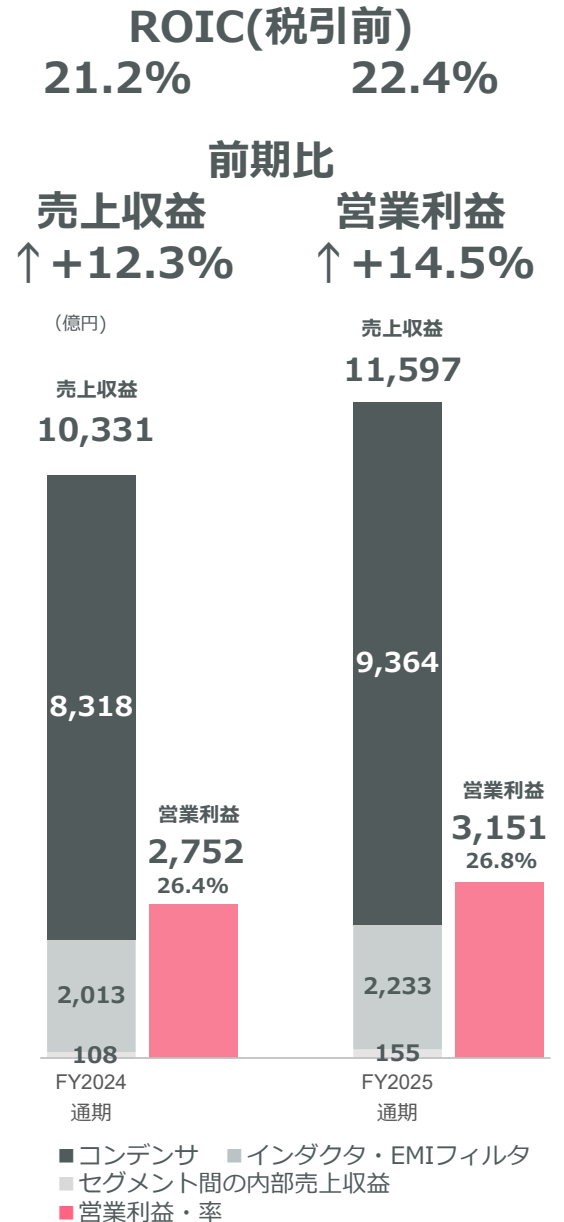
(注) 受注高=売上+当四半期受注残高-前四半期受注残高 受注残高は、各四半期末日時点の為替レートに基づき算出。
 ※対米ドル為替レート 2025年9月末：148.89円、2025年12月末：156.54円、 2026年3月末：159.93円

事業別セグメント売上収益（2025年度通期）

	2024年度 通期		2025年度 通期		増減	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	8,318	47.7	9,364	51.1	+1,046	+12.6
インダクタ・EMIフィルタ	2,013	11.5	2,233	12.2	+220	+11.0
高周波・通信	4,436	25.4	3,948	21.6	▲488	▲11.0
エネルギー・パワー	1,557	8.9	1,541	8.4	▲17	▲1.1
機能デバイス	978	5.6	1,071	5.9	+93	+9.5
その他	131	0.9	152	0.8	+21	+16.0
売上収益計	17,434	100.0	18,309	100.0	+875	+5.0

セグメント別概況ーコンポーネント [2024年度→2025年度]

売上収益	コンデンサ (前期比+12.6%)	○積層セラミックコンデンサ (MLCC) サーバー、スマートフォン、代理店向けで増加
	インダクタ・EMIフィルタ (前期比+11.0%)	○インダクタ スマートフォンやモビリティ向けで増加 ○EMI除去フィルタ サーバーやモビリティ向けで増加
営業利益		<p>製品価格の値下がりや円高の進行はあったものの、生産高の増加に伴う操業度益により前期比で増益となった。</p> <p>※比較には2024年度、2025年度に発生した一時収益・費用の影響が含まれております。</p>

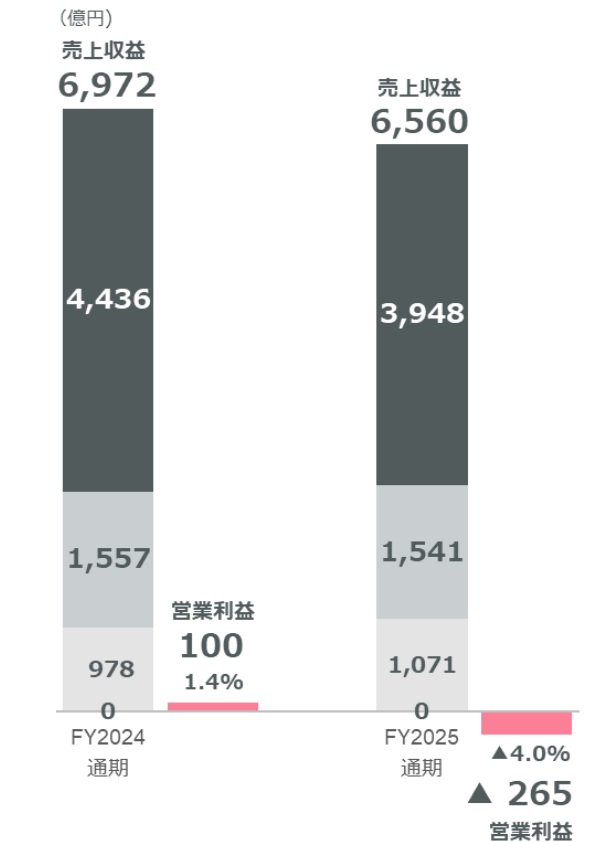


セグメント別概況ーデバイス・モジュール [2024年度→2025年度]

売上収益	高周波・通信 (前期比▲11.0%)	<p>▲高周波モジュール スマートフォンやPC向けで減少</p> <p>▲樹脂多層基板 スマートフォン向けで減少</p>
	エネルギー・パワー (前期比▲1.1%)	<p>○電源モジュール サーバー向けで増加</p> <p>▲リチウムイオン二次電池 ゲーム機やパワーツール向けで減少</p>
	機能デバイス (前期比+9.5%)	<p>○センサ モビリティ向けで増加</p>
営業利益		<p>売上減少に伴う高周波・通信の収益性悪化に加え、のれんや固定資産の減損により前期比で減益となった。</p> <p>※比較には2024年度、2025年度に発生した一時収益・費用の影響が含まれております。</p>

ROIC(税引前)
1.2% ▲3.5%

前期比
売上収益 営業利益
↓▲5.8% ↓—



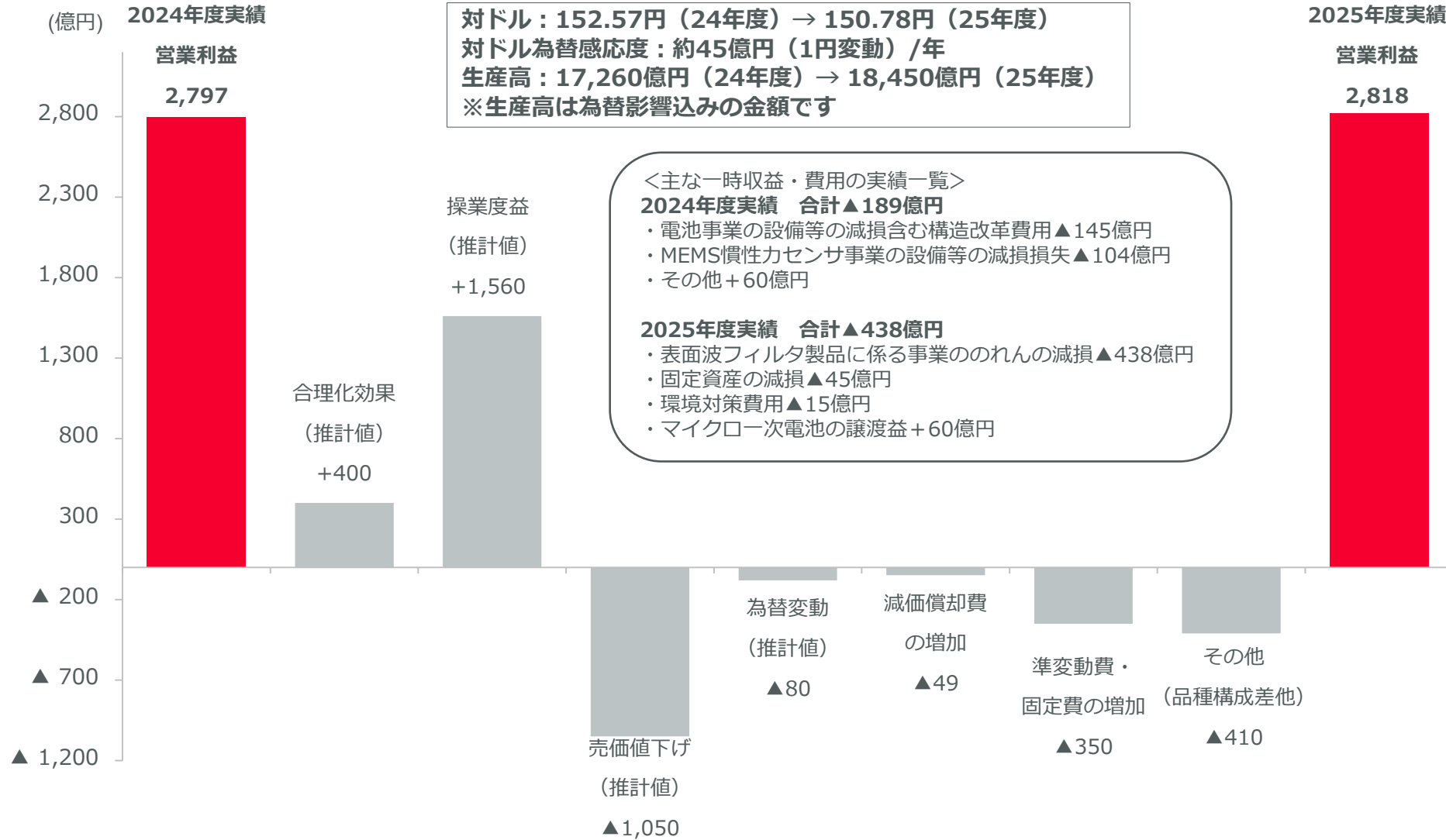
■高周波・通信 ■エネルギー・パワー
■機能デバイス ■セグメント間の内部売上収益
■営業利益・率

用途別売上収益（2025年度通期）

	2024年度 通期		2025年度 通期		増減	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
通信	6,742	38.7	6,530	35.7	▲212	▲3.1
モビリティ	4,528	26.0	4,745	25.9	+217	+4.8
コンピュータ	2,417	13.9	3,104	16.9	+687	+28.4
内：データセンター関連	1,016	5.8	1,767	9.7	+751	+73.9
家電	1,425	8.2	1,427	7.8	+2	+0.1
産業・その他	2,322	13.2	2,503	13.7	+181	+7.8
売上収益計	17,434	100.0	18,309	100.0	+875	+5.0

(注) 当社推計値に基づいております。なお、2025年度よりビジネスの実態に合わせて用途別の売上収益区分の集計範囲を変更しております。増減比較のため、2024年度実績を変更後の区分に組み替えて表記しております。

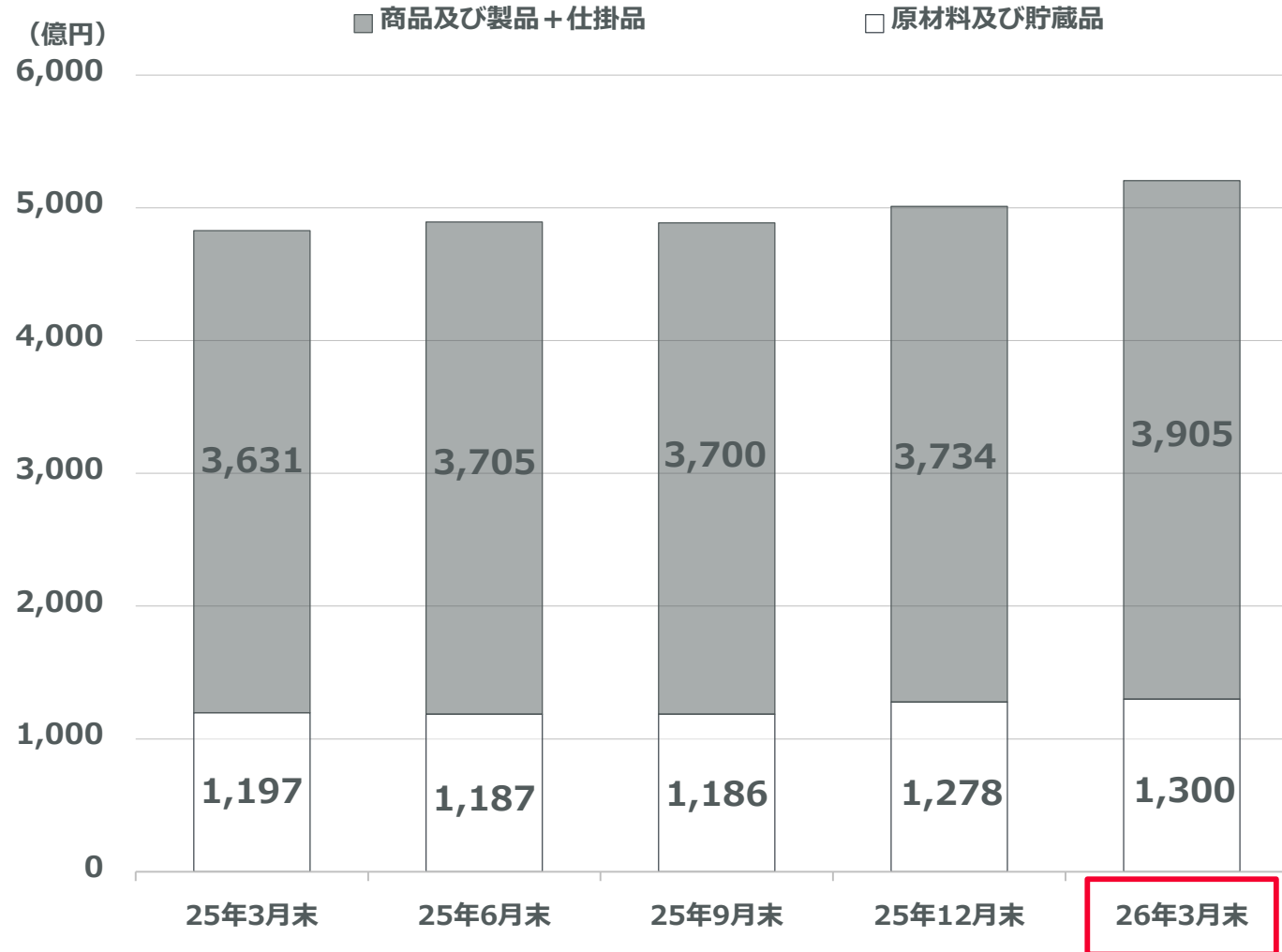
利益変動要因 [2024年度実績→2025年度実績]



※操業度損益は売値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

棚卸資産の状況

- 2026年3月末の棚卸資産は、前四半期末比で+193億円増加。
- 期末為替レートが円安に進行したことによる影響を除くと、同+165億円増加。



キャッシュフロー

- 前期比で棚卸資産の減少額が下回ったことにより、営業活動によるキャッシュフローが減少した。
- 財務活動によるキャッシュフローには前年同期に続き、自己株式取得および配当金支払が含まれている。

	2024年度 通期 (億円)	2025年度 通期 (億円)	増減 (億円)
営業活動によるキャッシュフロー	4,519	4,252	▲267
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 2,081	▲ 1,938	+143
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 2,427	▲ 2,218	+209
為替変動による影響	20	190	+169
現金及び現金同等物の残高	6,251	6,537	+286
フリーキャッシュフロー	2,438	2,314	▲124
固定資産の取得による支出	▲ 1,829	▲ 2,446	▲617
減価償却費及び償却費	1,733	1,782	+49

2026年度 業績予想

2026年4月～2027年3月

部品需要予測

- スマートフォン**：メモリ半導体の供給制約を受け、ミドル・ローエンドモデルは前期比▲0.4億台の減少を見込む。一方ハイエンドモデルへの影響は限定的。
- 自動車**：中国を中心にxEVの成長により、前期比約+80万台を見込む。
- PC**：メモリ半導体の供給制約を受け、前期比▲0.4億台の減少を見込む。

	2025年度 実績	2026年度 予想	増減
スマートフォン	12.4 億台	12.0 億台	▲3%
内 5G端末構成比率	65.7 %	67.5 %	横這い
自動車	9,217 万台	9,295 万台	+1%
内 xEV構成比率	42.5 %	49.5 %	+17%
PC	4.0 億台	3.6 億台	▲10%

(注) スマートフォンとPCは部品取込ベース、自動車は生産台数ベース

2026年度 業績予想

前期比

- 売上収益は2期連続で過去最高を更新。コンデンサを中心としたデータセンター関連需要の増加を背景に前期比で増収を計画。
- 営業利益は、値下げや固定費の増加をデータセンター関連需要増加による生産高増加や品種構成の良化が寄与し増益を計画。

	2025年度		2026年度				前期比		為替影響		
	実績 (億円)	(%)	上期予想 (億円)	下期予想 (億円)	通期予想 (億円) (%)		(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(%)
売上収益	18,309	100.0	9,595	10,005	19,600	100.0	+1,291	+7.1	▲78	+1,369	+7.5
営業利益	2,818	15.4	1,770	2,030	3,800	19.4	+982	+34.8	▲39	+1,021	+36.2
税引前利益	3,086	16.9	1,820	2,080	3,900	19.9	+814	+26.4			
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,339	12.8	1,370	1,560	2,930	14.9	+591	+25.3			
ROIC(税引後) (%)	9.7								12.3		
為替 (円/USD)	150.78								150.00		

※対ドル為替感応度(1円変動/年)
売上収益：約90億円 営業利益：約45億円

事業環境認識

4月時点の業績予想前提

業績予想に織り込んでいない機会・リスク

外部環境

- ホルムズ海峡の封鎖影響によるコスト増
- メモリ半導体の影響による供給制約

- ホルムズ海峡の封鎖影響による売上減少および生産リスクは未織り込み

売上

- データセンター関連の部品需要が大幅に伸長
- 中華圏を筆頭にxEV化は進展
- 製品価格の値下がりは緩やかに
- 通期前提為替レート：150円/USD

- サプライチェーンにおける不確実性の高まり、それに伴う部品取込ニーズの変化
- データセンター需要の更なる増加
- 前提為替レートに対する為替変動

生産

- データセンター向け需要を背景に生産高は増加
- コンポーネントを中心に今後の需要増に備えた在庫積み増しを計画

- 市場環境変化による部品需要の変動に伴う生産計画の変更

費用

- 原材料価格の高騰
- 人的資本投資やDX関連費用等経費支出の増加
- データセンター向けの小型大容量品向けの能力増強投資に向け、必要な投資を実行

- 原材料価格やエネルギー価格の急激な変動
- その他インフレ等による生産・物流コストの上昇

事業別セグメント売上予想

	2025年度 実績 (億円)	2025年度		2026年度 通期予想 (億円)	増減	
		上期予想 (億円)	下期予想 (億円)		(億円)	(%)
コンデンサ	9,364	5,224	5,392	10,617	+1,253	+13.4
インダクタ・EMIフィルタ	2,233	1,155	1,158	2,313	+80	+3.6
コンポーネント	11,597	6,380	6,550	12,930	+1,333	+11.5
高周波・通信	3,948	1,872	1,907	3,779	▲169	▲4.3
エネルギー・パワー	1,541	702	863	1,565	+24	+1.6
機能デバイス	1,071	560	579	1,139	+68	+6.4
デバイス・モジュール	6,560	3,134	3,349	6,483	▲76	▲1.2
その他	152	81	105	187	+35	+23.2
売上収益計	18,309	9,595	10,005	19,600	+1,291	+7.1

事業別セグメント売上予想 [2025年度→2026年度予想]

コンデンサ (前期比+13.4%)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 積層セラミックコンデンサ (MLCC) データセンター向けの旺盛な部品需要により増加を計画
インダクタ・EMIフィルタ (前期比+3.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ○ EMI除去フィルタ データセンターやモビリティ向けを中心に増加を計画
高周波・通信 (前期比▲4.3%)	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 樹脂多層基板 スマートフォン向けで減少を計画
エネルギー・パワー (前期比+1.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電源 サーバー向けで増加を計画 ▲ リチウムイオン二次電池 パワーツール向けで減少を計画
機能デバイス (前期比+6.4%)	<ul style="list-style-type: none"> ○ アクチュエータ HDD向けの需要増により増加を計画 ○ センサ・タイミングデバイス モビリティ向けでセンサの需要増により増加を計画

用途別売上予想

	2025年度 実績 (億円)	2025年度		2026年度 通期予想 (億円)	増減	
		上期予想 (億円)	下期予想 (億円)		(億円)	(%)
通信	6,530	3,170	3,219	6,389	▲141	▲2.2
モビリティ	4,745	2,392	2,459	4,851	+106	+2.2
コンピュータ	3,104	2,107	2,379	4,486	+1,382	+44.5
内：データセンター関連	1,767	1,491	1,759	3,250	+1,483	+83.9
家電	1,427	622	628	1,250	▲177	▲12.4
産業・その他	2,503	1,303	1,321	2,624	+121	+4.8
売上収益計	18,309	9,595	10,005	19,600	+1,291	+7.1

(注) 当社推計値に基づいております。

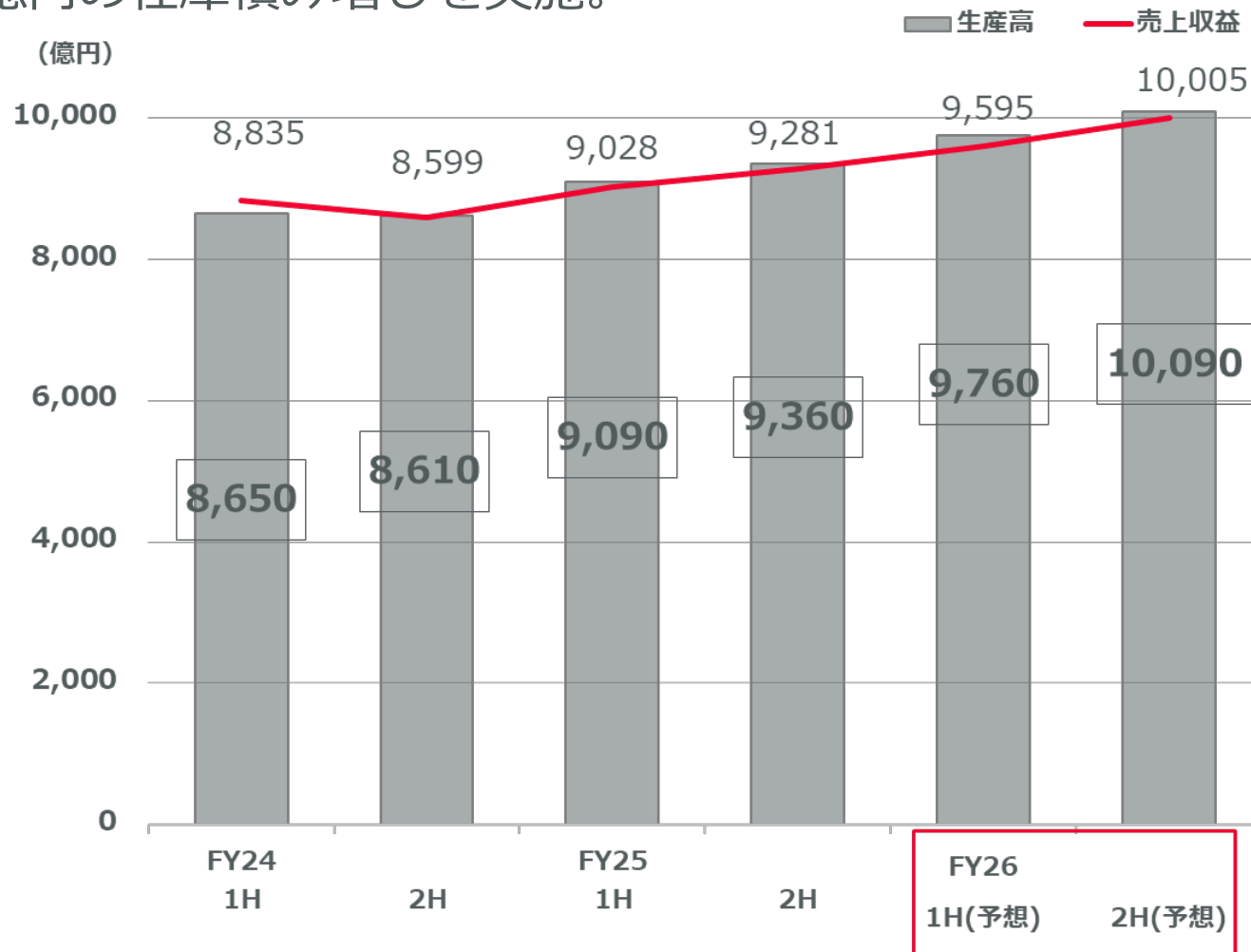
用途別売上予想 [2025年度→2026年度予想]

通信 (前期比▲2.2%)	▲ スマートフォン向けで樹脂多層基板の減少を計画
モビリティ (前期比+2.2%)	○ 自動車向けでコンデンサやセンサの増加を計画
コンピュータ (前期比+44.5%)	○ データセンター向けでコンデンサや電源モジュールが増加を計画
家電 (前期比▲12.4%)	▲ パワーツール向けでリチウムイオン二次電池の減少を計画
産業・その他 (前期比+4.8%)	○ 代理店向けでコンデンサを中心に増加を計画

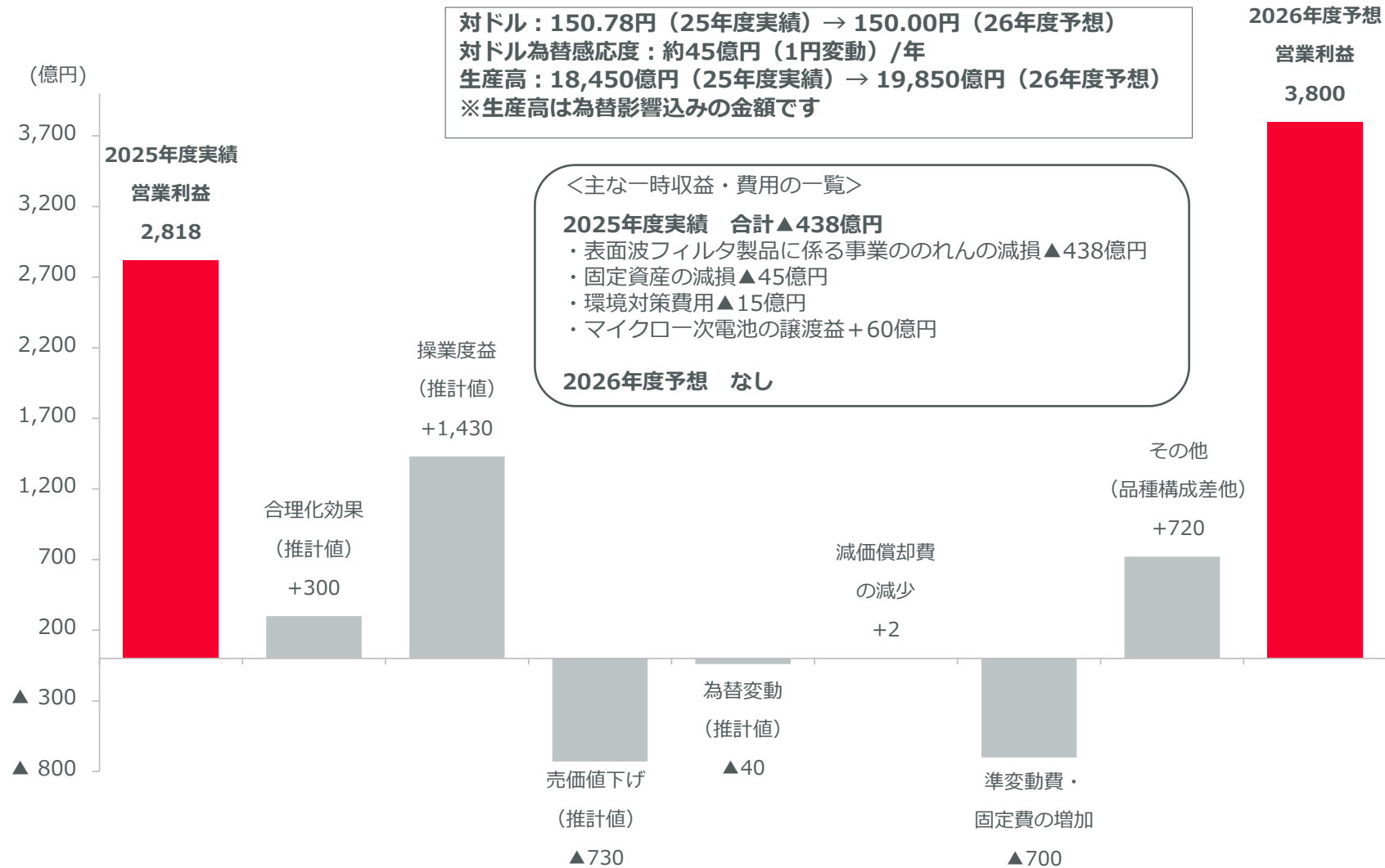
(注) 当社推計値に基づいております。

生産計画

- 2026年度通期の生産高は、1兆9,850億円（前期比+1,400億円）を計画。
- データセンターの部品需要拡大を背景に、コンデンサを中心として高い稼働率を維持し、全社で約250億円の在庫積み増しを実施。

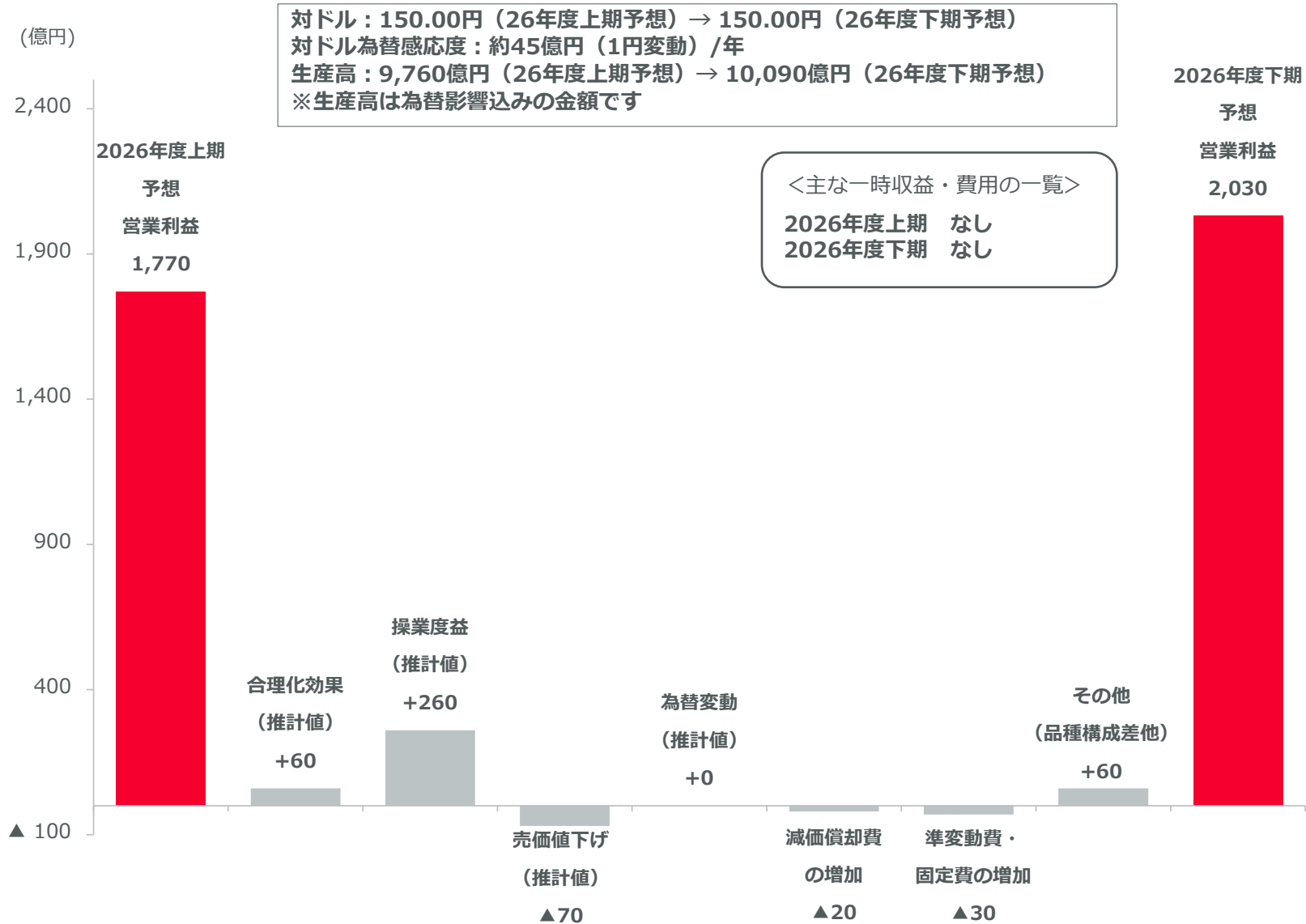


利益変動要因 [2025年度実績→2026年度予想]



※操業度損益は売値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

利益変動要因 [2026年度上期予想→2026年度下期予想]

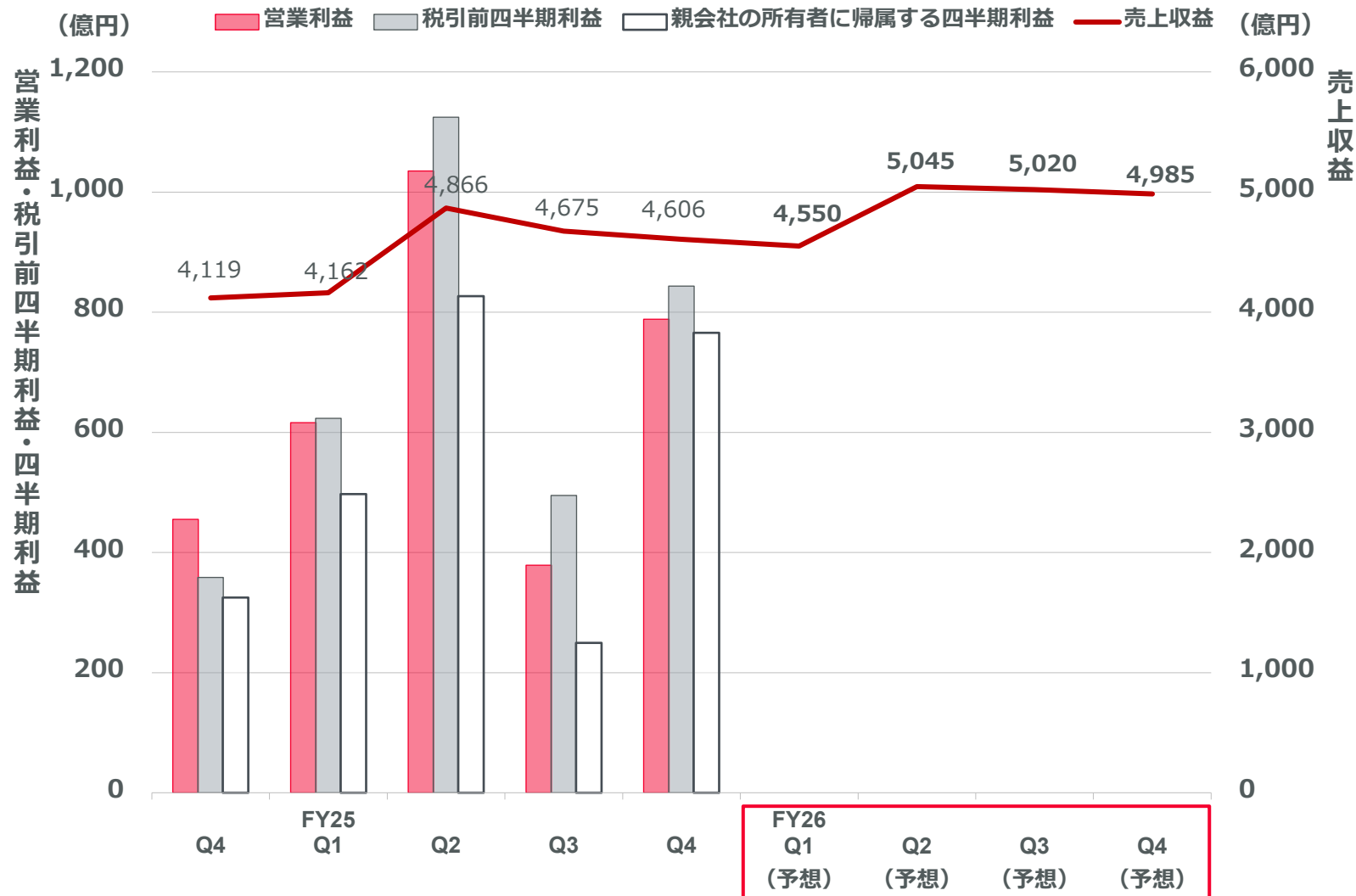


※操業度損益は売価値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

業績予想の前提

	2025年度 実績	2026年度 予想
減価償却費	1,782 億円	1,780 億円
研究開発費	1,589 億円	1,670 億円
設備投資額	2,478 億円	2,500 億円
為替レート	150.78 円/USD	150.00 円/USD

業績推移 (四半期)



株主還元

2025年度（2026年3月期）の配当

- **年間配当を前期比8円増配**

1株当たり年間65円（中間配当30円／期末配当35円）

2026年度（2027年3月期）の配当予定

- **年間配当を前期比5円増配**

1株当たり年間70円（中間配当35円／期末配当35円）

2026年度の自己株式取得予定

- **過去最大の1,500億円を上限とする自己株式取得を実行**

取得株式の総数：7,500万株（上限）

発行済株式総数(自己株式除く)に対する割合：4.12%

取得期間：2026年5月11日～2027年1月29日

目的：資本効率の向上のため（本取得分は消却を実施）

なお、2026年3月31日時点保有分については引き続き保有

※当株主還元は現時点での事業環境予測及び業績予想に基づくものであります。

キャピタルアロケーション進捗

中期方針 2027計画

<実績・業績予想>

設備投資
6,800億円



25年度実績
2,478億円

26年度予想
2,500億円

戦略投資
2,200億円



25年度実績
283億円

26年度予想
315億円

株主還元
4,000億円



25年度実績
1,186億円

26年度予想
1,260億円

<追加施策>

自己株取得
(一)



25年度実績
1,000億円

26年度予想
1,500億円

- ✓ データセンター需要増加に対してMLCCにおいて、27年度に向けた追加投資を実施。
- ✓ 中期方針2027年の6,800億円を**超過したとしても実行。**

- ✓ 長期視点での非連続な成長を実現するため環境投資やITインフラだけでなく、アライアンスやM&Aなども継続的に検討していく。

- ✓ DOE5%達成を見据えた**増配の実施。**
⇒26年度DOE予測 4.6%

- ✓ 資本効率性改善のため**自社株買いを実施。**
- ✓ **今回取得分は即消却を実施**

当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

Thank you

補足

連結財政状態計算書

(単位：億円)

	2025年 3月期末	2026年 3月期末	増減
現金及び 現金同等物	6,251	6,537	+ 286
営業債権	2,944	3,282	+ 337
棚卸資産	4,828	5,205	+ 376
その他の流動資産	955	791	▲ 165
流動資産合計	14,979	15,814	+ 835
有形固定資産	11,837	13,009	+ 1,172
使用権資産	642	596	▲ 46
のれん	1,357	995	▲ 363
その他の 非流動資産	1,466	1,578	+ 112
非流動資産合計	15,303	16,177	+ 874
資産合計	30,282	31,991	+ 1,709

	2025年 3月期末	2026年 3月期末	増減
社債及び借入金	24	33	+ 8
営業債務	696	798	+ 102
その他流動・ 非流動負債	3,762	3,982	+ 221
負債合計	4,482	4,813	+ 331
親会社の所有者に 帰属する持分合計	25,808	27,187	+ 1,379
非支配株主持分	▲ 8	▲ 9	▲ 1
資本合計	25,800	27,178	+ 1,378
負債及び資本合計	30,282	31,991	+ 1,709

(単位：円)

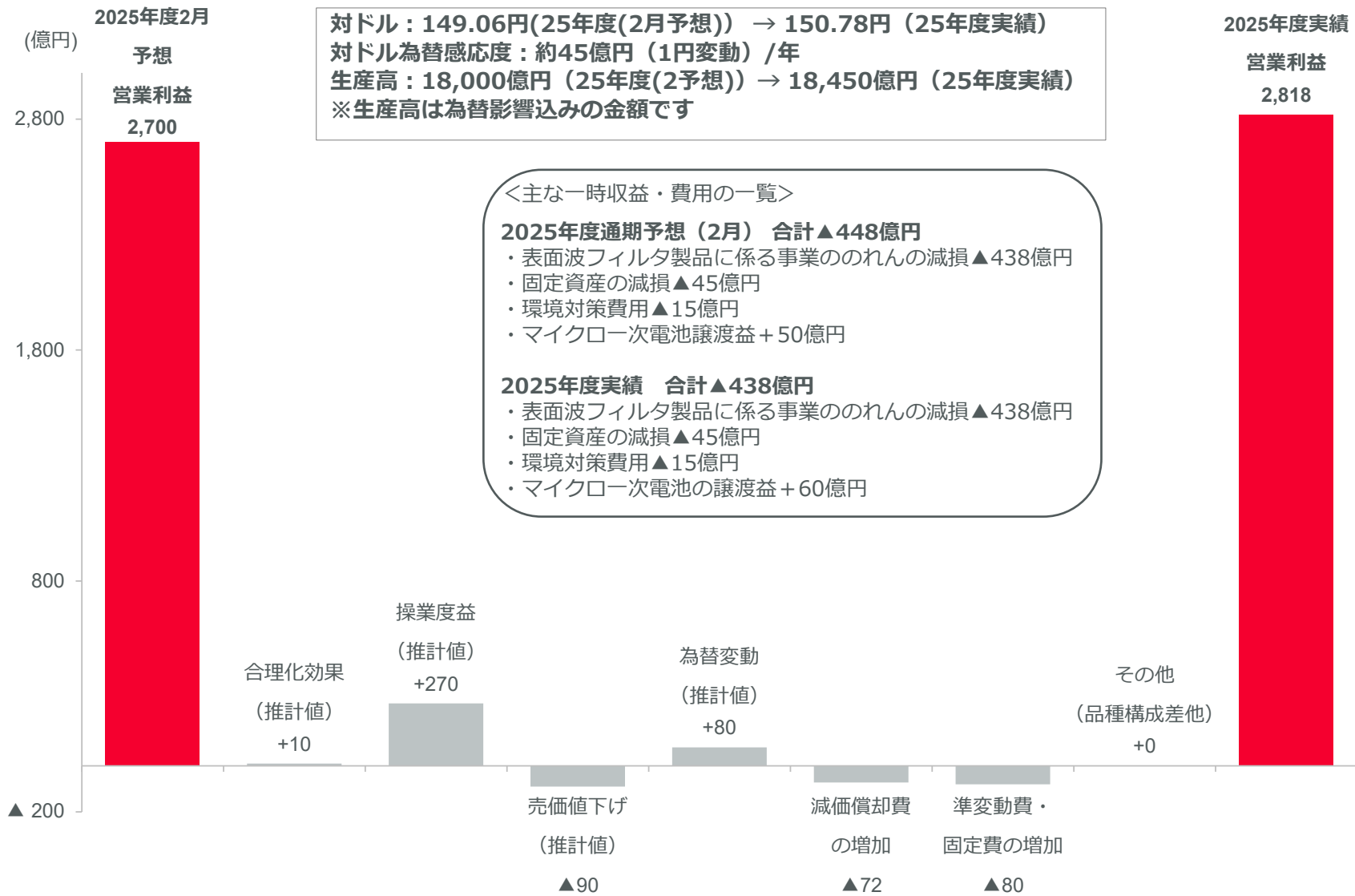
期末日為替レート	2025年 3月期末	2026年 3月期末	差
為替 (円/USD)	149.53	159.93	10.40 円安

用途別売上収益概況 [2024年度→2025年度]

通信 (前期比▲3.1%)	<ul style="list-style-type: none"> ○ スマートフォン向けでコンデンサやインダクタが増加 ▲ スマートフォン向けで高周波モジュールや樹脂多層基板が減少
モビリティ (前期比+4.8%)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自動車向けでコンデンサ、センサ、インダクタが増加
コンピュータ (前期比+28.4%)	<ul style="list-style-type: none"> ○ サーバー向けでコンデンサ、リチウムイオン二次電池が増加 ▲ PC向けで高周波モジュールが減少
家電 (前期比+0.1%)	<ul style="list-style-type: none"> ○ AV機器向けでコネクティビティモジュールが増加 ▲ ゲーム機向けでリチウムイオン二次電池やコンデンサが減少
産業・その他 (前期比+7.8%)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 代理店、産業機器、エネルギー市場向けでコンデンサが増加 ▲ 代理店向けで電源モジュールが減少

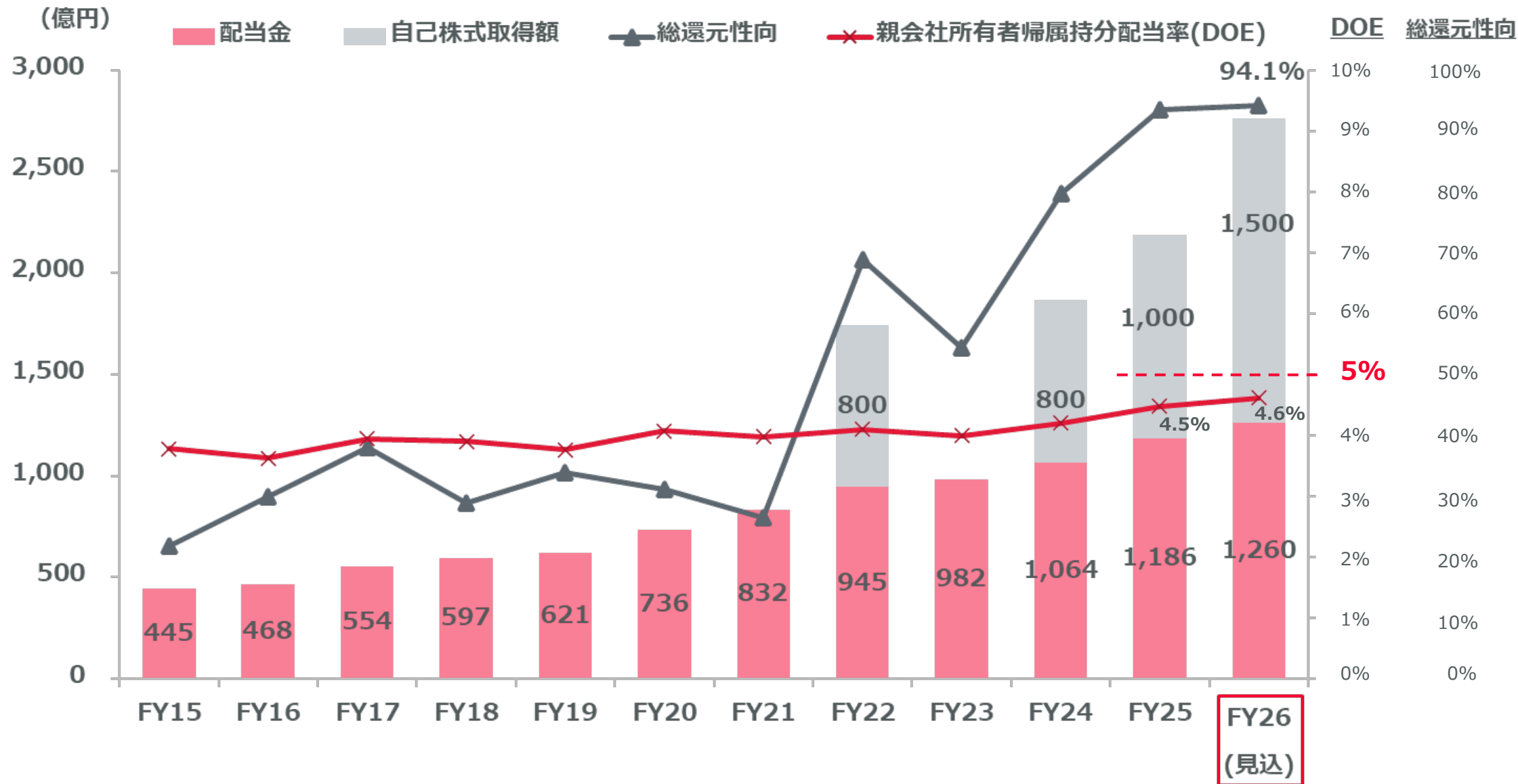
(注) 当社推計値に基づいております。なお、2025年度よりビジネスの実態に合わせて用途別の売上収益区分の集計範囲を変更しております。増減比較のため、2024年度実績を変更後の区分に組み替えて表記しております。

利益変動要因 [2025年度通期予想(2月) → 2025年度通期実績]



※操業度損益は売値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

株主還元推移



財務データ(1/3)

(億円)

	2024年度				2025年度			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	4Q
売上収益	4,217	4,618	4,480	4,119	4,162	4,866	4,675	4,606
営業利益	664	918	760	455	616	1,035	379	788
税引前利益	836	805	1,045	358	623	1,125	495	844
親会社の所有者に帰属する当期利益	664	640	710	325	497	827	250	766
設備投資	417	430	448	510	347	407	888	836
減価償却費	424	428	436	445	420	426	443	493
研究開発費	379	357	363	394	398	382	397	411
対ドルレート(円)	155.89	149.36	152.44	152.61	144.60	147.48	154.15	156.87

財務データ(2/3)

(億円)

		2024年度				2025年度			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	4Q
事業別 セグメント 売上 収益	コンデンサ	2,033	2,140	2,131	2,014	2,173	2,376	2,391	2,424
	インダクタ・EMIフィルタ	483	528	515	487	525	583	564	562
	コンポーネント 計	2,516	2,668	2,646	2,502	2,698	2,958	2,955	2,986
	高周波・通信	993	1,263	1,209	971	821	1,206	1,022	899
	エナジー・パワー	426	411	347	374	358	391	389	402
	機能デバイス	252	240	245	241	248	274	271	278
	デバイス・モジュール 計	1,672	1,914	1,801	1,585	1,426	1,871	1,682	1,580
	その他	29	36	34	32	37	37	37	41
	売上収益計	4,217	4,618	4,480	4,119	4,162	4,866	4,675	4,606
	用途別 売上 収益	通信	1,549	1,913	1,798	1,481	1,376	1,910	1,717
モビリティ		1,150	1,126	1,146	1,106	1,133	1,212	1,218	1,181
コンピュータ		572	643	611	590	700	759	773	872
家電		390	365	323	348	368	366	356	337
産業・その他		557	571	601	593	585	620	610	689
売上収益計		4,217	4,618	4,480	4,119	4,162	4,866	4,675	4,606

(注) 2025年度よりビジネスの実態に合わせて用途別の売上収益区分の集計範囲を変更しております。
増減比較のため、2024年度実績を変更後の区分に組み替えて表記しております。

財務データ(3/3)

(億円)

		2024年度				2025年度			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	3Q	4Q
コンポーネント	売上収益	2,543	2,698	2,674	2,525	2,740	3,002	3,000	3,010
	営業利益	737	768	688	559	712	865	764	811
	営業利益率	29.0%	28.5%	25.7%	22.1%	26.0%	28.8%	25.5%	26.9%
デバイス ・モジュール	売上収益	1,672	1,914	1,801	1,585	1,426	1,871	1,682	1,580
	営業利益	▲61	157	84	▲80	▲80	183	▲364	▲4
	営業利益率	▲3.7%	8.2%	4.7%	▲5.1%	▲5.6%	9.8%	▲21.7%	▲0.2%
その他	売上収益	154	165	182	172	172	158	160	208
	営業利益	▲12	▲8	▲12	▲23	▲15	▲13	▲21	▲19
	営業利益率	▲7.5%	▲4.7%	▲6.7%	▲13.3%	▲8.9%	▲8.3%	▲13.0%	▲9.1%
消去	売上収益	▲152	▲159	▲176	▲164	▲177	▲165	▲168	▲191
連結	売上収益	4,217	4,618	4,480	4,119	4,162	4,866	4,675	4,606
	営業利益	664	918	760	455	616	1,035	379	788
	営業利益率	15.7%	19.9%	17.0%	11.1%	14.8%	21.3%	8.1%	17.1%

muRata

INNOVATOR IN ELECTRONICS